



大阪対がん協会報

2013年5月

発行 財団法人 大阪対がん協会

〒530-8211 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞社内
(中之島フェスティバルタワー 15階)

TEL 06-6201-8029 FAX 06-6201-8615

E-mail: office@osakacancer.jp HP: http://www.osakacancer.jp

若手研究者15人に贈呈

がん研究 助成奨励金



大阪対がん協会（会長＝堀正二・大阪府立成人病センター総長）は3月11日、大阪市北区中之島の中之島フェスティバルタワーで平成24年度がん研究助成奨励金の贈呈式を行い、大阪市立大学大学院・病院講師の野田諭さん(37)ら15人に奨励金30万円、計450万円を贈りました。

がん研究助成奨励金は、がんの予防と治療に役立つ研究や取り組みに従事している個人やグループを助成・奨励するもので、今回が53回目。若手育成を目的とし、応募資格は満40歳未満の研究者、医療従事者に限って

います。24年度は「基礎」「臨床及び疫学」「看護等」の3部門で計90人から研究成果の応募がありました。選考委員13人の採点結果をもとに、2月15日に開かれた選考委員会（委員長＝堀会長）で受賞者15人を選びました。受賞者は今回で延べ1629人、奨励金総額は3億8080万円となりました。



贈呈式では堀会長が「受賞者の多くが現在もがんの領域で活躍されています。みなさんもこの受賞をスタートとして業績を挙げられ、社会に還元していただきたい」とあいさつしました＝写真右。続いて受賞者一人一人に、会長から賞状と奨励金が手渡されました＝写真上。受賞者の14人は初受賞で、大阪大学大学院生の田中晃司さん(34)が平成21年度に続く2度目の受賞でした。

受賞者を代表し、野田さんが自らの研究内容を紹介。「スキルス胃癌の研究において、腹腔内が低酸素状態の環境下ではがん細胞が浸潤・転移を起こしやすいことが分かりました。ただ、研究はすぐ臨床に応用できる段階ではなく、今後の積み重ねが必要と考えています」と決意を話しました＝写真左。

※ なお、この事業は塩野義製薬、中外製薬、 Bristol・マイヤーズ、バイエル薬品のご支援を受けています。
(受賞者は2ページに掲載)



受賞者のみなさん
(中之島フェスティバルタワーで)

受賞者 (敬称略、50音順)

【基礎の部】

氏名	年齢	所属	研究題目
一井 倫子	38	大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科 寄附講座助教	多発性骨髄腫における癌幹細胞の探索
笹井 美和	34	大阪大学微生物病研究所 感染病態分野 助教	細胞内小胞輸送分子を介したI型インターフェロン産生制御による抗がん機構の解析
笹川 覚	38	大阪府立成人病センター研究所 生物学部門 研究員	骨軟部腫瘍の転移能を調節する因子の探索と分子メカニズムの解析
佐貴理佳子	31	大阪大学蛋白質研究所 分子発生学教室 助教	がん関連網膜症で産生される自己抗体の抗原の同定とがん診断への応用
萩山 満	35	近畿大学医学部病理学講座 助教	偽足突起のプロテオミクスに基づく新規癌転移浸潤促進分子の探索

【臨床及び疫学の部】

岩上 佳史	33	大阪大学大学院医学系研究科 外科系臨床医学専攻外科学講座 消化器外科学 大学院生	膵癌の抗癌剤感受性を制御する microRNA の同定とその臨床応用法の構築
浦田 順久	37	大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵外科学 後期研究医	ヒト胆管癌化学発癌メカニズムの解明と臨床応用：印刷従業員にみられた胆管癌の病態解明
武田 真幸	36	市立岸和田市民病院 腫瘍内科 部長	EML4-ALK 陽性進行非小細胞肺癌における、ALK 阻害剤の治療効果の検討
田中 晃司	34	大阪大学大学院医学系研究科 外科系臨床医学専攻外科学講座 消化器外科学 大学院生	免疫チェックポイント機構制御 (抗 PD-1 抗体) による癌細胞の免疫回避抑制
野田 諭	37	大阪市立大学大学院医学研究科 腫瘍外科学 病院講師	低酸素微小環境における胃癌腹膜転移機序解明と分子標的治療の開発
疋田 隼人	36	大阪大学大学院医学系研究科 内科系臨床医学専攻消化器内科学 特任助教	肝障害の持続が肝発癌を誘発する機序の解明
頼 晋也	32	近畿大学医学部附属病院 血液・膠原病内科 助教A	レセプター型チロシンキナーゼの細胞内輸送を標的とした新規白血病治療法の開発

【看護等の部】

川島 鮎美	32	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 がん看護高度実践看護師コース 博士前期課程大学院生・看護師	根治的化学放射線療法を受ける非小細胞肺癌患者が「体力」を維持するプロセス
北野 愛子	31	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 統合保健看護科学分野看護実践開発科学講座 博士前期課程大学院生・看護師	食道がん手術待機中の患者が効果的に栄養摂取を行うためのセルフケアと必要な看護支援
宮崎ゆう子	34	大阪市立総合医療センター 外来化学療法室 看護師	大腸癌化学療法による口腔粘膜炎に対するアズレンスルホン酸ナトリウム水和物+グリセリン含嗽剤と成分栄養剤 (エレンタール®) 併用の検討

講演会・イベント情報

■リボンの騎士ナイト 2013 ～貴方をがんから守りたい～

今年の第1部は、フォークシンガーでラジオのパーソナリティーとしても活躍中のばんばひろふみさんのステージです。第2部のトークショーでは、大腸がんと乳がんを中心に専門医と患者が語り合います。

7月7日(日)〈15:00開演～〉

◇会場 エルセラーンホール(大阪市北区堂島1-5-25)

◇出演 ばんばひろふみ

医師=奥野清隆先生(専門・大腸がん)、高島勉先生(専門・乳がん)

◇入場料 前売り3,000円、当日3,500円(定員400人)

(※チケット1枚につき300円が大阪対がん協会に寄付されます)

◇主催 「リボンの騎士ナイト」実行委員会(藤本統紀子委員長)

◇企画 ロンマリ・プロジェクト

◇後援(予定) 大阪府、大阪市、大阪府医師会、大阪府看護協会、大阪府薬剤師会

◇事務局/申し込み 大阪対がん協会



ばんばひろふみ

■リレー・フォー・ライフ大阪 ～今年は2カ所で開催～

がん患者支援イベントのリレー・フォー・ライフ(RFL)が今年も大阪で開催されます。主催のRFL大阪実行委員会(増田悦子委員長)によると、貝塚市・二色の浜公園で2年連続開催されるのに加え、大阪市でも府立大手前高校での開催が決まりました。日程は以下の通り。なお、昨年の貝塚では2日間で延べ1999人が参加、集まった募金や寄付から172万円が日本対がん協会に寄付されました。

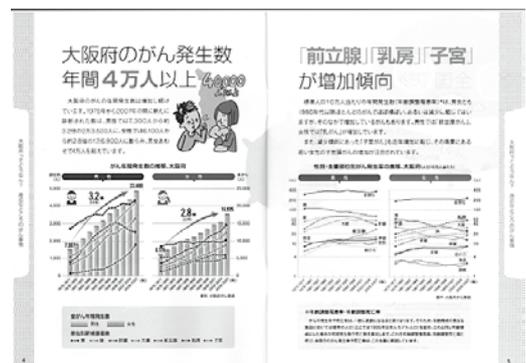
◇RFL大阪貝塚	9月21日(土)～22日(日)	府営二色の浜公園・球技広場(貝塚市)
◇RFL大阪大手前	10月12日(土)～13日(日)	府立大手前高校グラウンド(大阪市中央区)

「進め!がん防衛隊」を発行



大阪対がん協会はこのほど、がん啓発小冊子「進め!がん防衛隊」を発行しました。A5判、フルカラー、40ページで、がんの基礎的な知識やがんの予防、がん検診の案内など、図表やイラストをたっぷり盛り込んで分かりやすく解説しています。とりわけ「大阪府のがん発生数 年間4万人以上」など大阪のがん事情をデータで紹介しているのが特徴です。巻末には府内のがん診療拠点病院60カ所を一覧掲載しました。

多くの方に小冊子を読んでいただき、がんの予防や検診に関心が高まることを願っています。冊子は非売品ですが、配布をご希望の方には相談に応じます。



会員のみなさま

賛助会員継続・会費振り込みのお願い

これまでのご支援に感謝いたします。

これからも、がん征圧運動にご協力いただき、2013年度（平成25年度）も会費をお納めいただきますようお願い申し上げます。同封の払込取扱票をご利用ください。なお、振り込み手数料につきましては、誠に恐縮ですがご負担をお願いいたします。

協会は今年度中の公益財団法人移行をめざしています。公益財団になった後は、これまで以上に財政基盤の安定を求められます。引き続き温かいご支援をよろしくようお願い申し上げます。

●がん検診サービス券 今年度も全会員に配布

2011年度から新たな会員の特典として、がん検診サービス券を発行しています。3年目となる13年度も引き続き、すべての会員にサービス券＝写真＝を配布します。詳細については同封の「ご利用方法」をご覧ください。



事務所移転しました → 中之島フェスティバルタワー 15階

協会の事務所が「大阪朝日ビル6階」から「中之島フェスティバルタワー15階」に移転しました。3月末に引っ越し、真新しいオフィスで新年度を迎えました。住所も「大阪市北区中之島3丁目2の4」から「大阪市北区中之島2丁目3の18」に変わりました。電話、ファクス番号は変わりません。

新事務所へお越しの方は、中之島フェスティバルタワー北側のエレベーターで13階（スカイロビー）へ上り、15～26階行きのエレベーターに乗り換えてください。15階西側（四つ橋筋側）の部屋で、6団体が同居しています。

..... 理事会・評議員会

大阪対がん協会は3月11日、大阪市北区中之島2丁目の朝日新聞社会議室で理事会、評議員会を開き、2013年度予算案、同事業計画案を可決、承認しました。

☆予算規模は1920万円

予算額は1920万円で、前年度比20万円増を見込んでいます。支出では、普及・啓発活動や研究助成など公益目的の対がん事業費に1247万円を計上しています。会員向け事業に176万円、法人の運営に使う管理費には496万円を計上、経常費用に占める公益目的事業の比率は65%となっています。事業計画では、新規事業として協会が主催する講演会を開催することや、小冊子「進め！がん防衛隊」を広く配布することを重点に挙げています。

☆公益移行は新年度に持ち越し

2012年度の最大課題だった公益財団法人への移行は、年度内に大阪府公益認定委員会の「認定」が得られず、継続審査の形で13年度に持ち越しとなりました。移行期限は13年11月末となっており、協会では引き続き公益移行に向けた手続きを進めています。